



常一小だより

令和3年1月6日

松戸市立常盤平第一小学校

1月号

学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/tokil-e/>

児童数 132名



一年の計は元旦にあり

校長 平松 澄明

あけましておめでとうございます。旧年中は、学校生活がコロナウイルス禍に翻弄される中、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もよろしくお祈りします。

感染拡大の不安が広がる中、穏やかなお天気に恵まれ、よいお正月が迎えられました。一方では、豪雪に見舞われている地方もあるということですので、お見舞い申し上げます。

さて、それぞれのご家庭では、どんな年末年始を迎えられたのでしょうか。行動が制限されている中ではありますが、それだけに「密」な時間があって、家族の絆を深められたのではないのでしょうか。そんな中で、新しい年を迎えて「今年は〇〇をがんばる」「△△ができるようになる」等といった、それぞれの思いが会話の中に出てきたご家庭も少なくないことと思います。

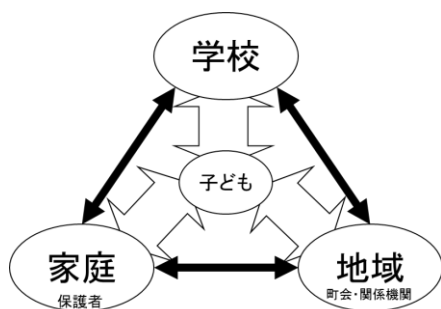
今日の始業式で表題のことわざを引用して子どもたちに話をしました。これには、「新しい年の計画はその年の初めにたてて、そこから計画を実行していきなさい。」という意味があるようで、この言葉の由来は、毛利元就の言葉や中国の明時代の文献が起源という説があるようです。早くから計画を立て、それを実行に移していかなければ、計画は成し遂げられないということのようです。

4月になると子どもたちは、進級して新たな課題に挑戦することとなります。そこに至るためには、これからの3か月が大切になります。これまでのまとめをして、成果と課題をはっきりさせて次につながる事が大事なので、私たちは日常の指導を通してその支援をしていきます。

また、常一小としても今年は大きな転換期を迎えることとなります。一つは、「with corona」の状況下で、新しい日常のもとでの学校生活を確立するという事です。もう一つは、3月に6年生37名が単立つことにより急速に小規模化が進行することを踏まえた学校運営です。

前者は、コロナ禍で学校行事の中止や変更、延期が相次いだ昨年の経験を踏まえ、宿泊行事や校外学習、運動会などの学校行事をどのように運営していくかが大きな課題となるということです。そして、後者は市内で一番一人ひとりに寄り添うことのできる学校としての指導・支援のあり方やそれを支える保護者組織としてのPTAのあり方について模索していくことが求められるということです。

下の図は、教育関係の文献には必ず出てくる「学校—家庭—地域の連携」を表したものです。子ども



たちは、この三者に支えられ日々成長をしているので、どれも欠かせぬ存在です。常一小の転換点を乗り越えるという今年一年の「計」を実行するにあたり、この枠組みを堅持して取り組んでいきたいと思っています。どのような社会状況になろうともご家庭の皆さんとこの常盤平の地域で子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。「がんばろう 常一小！」

At home な学校へ

フラワーボランティア、交通安全ボランティアの皆様への「ありがとう！」

二学期末の12月後半に、全校の児童が直筆で書いた「ありがとう！」のメッセージレターを綴じ込み、12月23日に日頃からお世話になっているボランティアの皆様へ感謝の気持ちを伝えました。大きな文字や几帳面な文字、まっすぐな文字や揺れるような文字、全ての「ありがとう！」を受けとっていただきました。支えていただく大きな手と心に、感謝申し上げます。



進学・進級に向けての三学期

日常の何気ない生活の中には、大切なことがたくさんあります。食事をとること、着替えをすること、規則正しく生活すること、学習すること、体を動かすこと、人と交流すること、そして愛し愛されること。

小学校6年間ではこれらの基礎的なことをしっかりと身につけていくこととなります。三学期は、子どもたちの実態に合わせて一年間の総まとめの時期となります。日々成長を遂げている子どもたち、そして努力を続けている子どもたちに、ご家庭と学校と地域の方々と連携を図りながら、安心・安全な学校生活を進めていきます。引き続きよろしくお願ひします。

書き初めに挑戦

三学期はじめに各学年で書き初めを行います。冬休みに各自練習した成果と、年初めの希望に満ちた思いを胸に、筆の一面一面に力を込めて書きます。

校内書き初め展を1月19日(火)～1月22日(金)まで予定しています。どうぞ力作の作品をご覧くださいければと思います。

始業式はリモートで

体育館での始業式は行わず、各教室の大型テレビに映された画面にて始業式を進めました。リモートの良さを感じつつも、対面での学びの重要性を再確認しています。

花咲くつぼみは冬を越す

コロナ禍での学校生活を継続させています。換気、マスク、手洗い・うがい、消毒、ソーシャルディスタンス、そして毎日の健康チェック。いつ・誰が陽性になってもおかしくない状況ではありますが、未然防止策を継続させることで学校生活への影響を最小限に抑えていきます。どうぞ今後ともご協力いただけますようよろしくお願いいたします。